

2021 年度実施概要

学校名

船橋市立湊町小学校

採択活動名

船橋の海について見つめ直そう

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 船橋アンバサダー	3年	総合的な学習の時間
2.		
3.		

取り組みの概要

(単元観)

児童は1次の学習活動で、湊町の魅力を探る活動を行った。その中で漁獲量が日本一であり、オリンピックでの食材提供が行われることなどの理由から「スズキ」に目を付けて学習を行ってきた。その際にスズキをブランド化し、地域の漁業の再興や、環境保護を目指して活動されている海光物産の大野さんと出会い、自分たちの知らないところでたくさんの人が漁業、ひいては地域を支えていることに気が付いた。さらに、大野さんと関わる中で、スズキがたくさん捕れる理由の一つに「三番瀬」があることを知り、自分たちの地域の魅力であるスズキを守るために、三番瀬のことをもっと知る必要があることにも気が付き、2次の学習へと繋がっていく。

本単元では、三番瀬の生き物を中心に学習を進めた。何となく三番瀬のことは知っていても、スズキのこと以外あまり知らないという現状を受けて、三番瀬には豊かな自然、貴重な資源があることを、多くの生き物の命を通して感じることで、意欲的に学習に取り組むことができると考えたからである。なぜ三番瀬にはこんなに多くの命があるのかということについて考え、調べていく中で、三番瀬が多くの生き物のすみかとして適した環境になっていることや、三番瀬を守ろうと努力している人がいること、船橋の漁業は三番瀬の恩恵を受けていることなどに気付かせ、自分も地域の一員として、地域の魅力を人に伝えることで、地域を支えること、環境を守ることができる人になりたいと思えるような学習をさせたいと考えた。さらに今年度の学びを来年度行う計画になっている環境学習へと繋げていきたい。

(指導観)

本学習のねらいと児童の実態を踏まえ、第1次を「湊町アンバサダー～湊町の魅力発見!～」、第2次を「船橋アンバサダー～三番瀬の魅力を伝え隊～」と題して学習を進めることとする。

第1次では、実態調査で湊町のよいところを質問した際に、答えられなかったり、近くにある大型ショッピングモールくらいしか答えが出なかったりした現状があった。一方で、近くにある海については認知していることがわかったので、その海を足がかりに自分たちの地域に対して、もっと興味を持ってほしいと考え、漁港見学をするところから学習を始めた。そこで、児童は地域にある

豊かな自然の存在や、それらを支える人の存在を知り、少しずつ地域への愛着を深めてきた。さらに学習を進める中で、「スズキ」の漁獲量が日本一であることに注目し、スズキについての学習を進めた。その結果、スズキの漁獲量が日本一となった理由に、漁業を支える人々の営みと、豊かな環境が起因していることを改めて知った。そこから、児童はもっと環境について知りたいという気持ちを高めた。

第2次では、湊町から少し視野を広げ、船橋全体に目を向けつつ、船橋の魅力を支える三番瀬をテーマに学習を進めたい。1次の最後に、ゲストティーチャーとして関わって下さっていた海光物産の大野さんに学習の成果を伝える際に、スズキももちろんのこと、そのスズキを育む三番瀬についてもっと知ってほしいと問題提起をしてもらうことで、三番瀬について学ぶための意欲を高めさせた。また、児童は「海をきれいにしたい」「環境を守りたい」という思いを高めているが、まだ自分たちにできることを考えられていない。大きな取り組みではなく、三番瀬の魅力や現状、そこに携わる人について多くの人に知ってもらう、まさに「アンバサダー」になることが自分たちにできる環境を守る方法であるということ気付かせたい。そのねらいをはっきりさせることで真剣に、切実感を持って学習に取り組む姿を見ることができた。

活動中の写真



地域にある海光物産の社長にお越し頂き、スズキや三番瀬のお話をさせていただいたり、取れた魚を見せていただいたりしました。

また、校外学習では、三番瀬にいる生き物を触らせてもらうなど、年間を通じて、様々な場面で三番瀬に関わりながら学習を進めることができました。本校は海苔すき体験や船上学習を行うことができる学校でもありますので、そういった地の利も生かして学習を進めていきたいです。